

うづいめく影

「NLPの影から4町」

◆⑤◆

今日22日の大柿町定例
 議会。冒頭で、江能4町
 の合併法定協議会会長を
 務める同町の平口武町長
 は大黒神島基地誘致推進
 期成同盟会の結成などを
 報じた毎日新聞の記事に
 触れ、「町としては昨年
 と変わらず断固反対だ」と
 言い切った。平口町長
 は発言の意図について、

「NLPの誘致構想は4
 町にとつて重大な事件。
 住民の関心も高いので、
 改めて町の意思を表明し
 た」と説明する。同盟会
 の結成は、合併を約4カ
 月後に控えた周辺町にも
 波紋を広げ始めた。

その約1カ月前、大柿
 町内で4町の合併協定調
 印式が行われ、4町長が
 固い握手を交わした。01

げられた。だが、新市名
 の決め方などで能美町が
 脱会する混乱があり、一
 時は破局も取りざたされ
 た。調印式は、混乱を乗
 り越え、ようやく迎えた
 晴れの舞台だった。それ
 だけに、沖美町での誘致
 構想の再燃に、心穏やか
 ではられない。

平口会長は「同盟会の
 動きは許されん。でも、
 松井（沖美）町長は公約
 で誘致反対を掲げたんだ
 から、私は信じとします」
 と静かに語った。しかし、
 合併への影響について問
 うと、「私に聞いても分
 からん。合併をつぶすつ
 もりか」と二転して怒り
 をあらわにした。江田島

町関係者も「合併に向け
 て仲良くやる」と一生懸
 命で取り組んでいると、

「オナリナ新う狙後合併」



なく、閑散とした沖美町役場。裏手に回ると
 勢を見下ろせる。

大柿「許されん動き」 町長

ない。
 沖美町の松井晃町長は
 毎日新聞の取材に対し、
 「わしの政治生命をかけ
 て、誘致はやらさん」と
 誘致の可能性を完全に否
 定、同盟会の動きをけん
 制する。
 ところが、同町内では
 誘致賛成、反対の双方か
 ら、「今は無理だが、合
 併後は可能性がある」と
 同じ声が上がっている。
 同盟会の幹部は「新市に
 なって町民の多数決をと
 ったら、賛成の方が多く
 なる。江田島は自衛隊の
 基地がもともとあるし、
 大柿、能美も騒音はそれ
 ほど来ない。それで交付
 金などのメリットは市全
 体に来るんだから」。
 沖美町内の事情通の一
 人は「同盟会としては、
 合併後も誘致構想につい
 て沖美が主導権を握るこ
 ころが、同盟会幹部は「今、同盟
 会を立ち上げておけば、
 合併後も誘致構想につい
 て沖美が主導権を握るこ
 ころが、同盟会幹部は「今、同盟
 会を立ち上げておけば、

とができる」と会結成の
 意図を明かした。
 「決してバラ色の合併
 ではないよ」。閑散とし
 た沖美町の庁舎で、ベテ
 ラン職員が自嘲気味につ
 ぶやいた。「4町の中で
 人口が最も少なく、地理
 的にも西端にある沖美へ
 絶対に本庁舎は来ない。
 でも、合併せずに3年も
 たてば町財政は破たんす
 る」。手をこまねて

いじめく影

3 NLPの活動



6月20日夜、神美町の味なあじやない」

女たちが米空母艦載機の 始めたのは、大黒神島

夜間発着訓練 (NLP) に画した同町沖地区の女

施設の誘致に反対する署 性会(会員153人)。

名活動を始めた。「男た 会長の小西とフミさん

ちは夢のような話ばかり (88)は「町民は『まだそ

並べる。騒音なんかで人 んな話があるのか』と驚

が住めんような町になっ いとりますよ。去年あん

たら、雇用拡大なんて意 な騒ぎになり、白紙撤回

大黒神島が目前に広がる地区で署名を集めて回る
い西さん(左)。署名した高齢の女性は「また誘
女なんて信じられん話じゃね」とまゆをひそめた



「基地は子や孫に申し訳ない」

したのに、なんてバカな
ことを」と、興奮した様
子で誘致の動きを非難し
た。
女性会は大黒神島基地
誘致推進期成同盟会結成
の報道を受け、同22日夜、
緊急に支部長会を開き、
「誘致賛成派が署名活動
を始めれば、直ちに反対
署名を始める」と決めた。
しかし、誘致派の署名活
動の動きが見えないこと
に、真剣な
表情で誘致後の町の将来
像を語り始めたという。
小西さんは自宅から大
黒神島を見ながら、ため
息をついた。「小さいこ
ろから神様が住む島と聞
かされて育った。それを
戦争の片棒を担ぐ基地に
してしまつたら、子や孫
に對して申し訳ない。当
分、気が休まらんです」
この動きに對抗し、同
盟会も6月30日夜、誘致

沖美の 反対へ署名活動

から、同28日に役員会を
開き、反対署名活動を開
始することを全会一致で
承認した。小西さんは「少
しでも早く誘致構想を、
町からなくしたい思いか
らなんよ」と説明した。
同25日、女性会の反対
署名の動きを知り、小西
さん宅へ同盟会会長の建
設業者が突然に訪れた。
会長は「反対署名を始め
る町の将来像をイラスト
トにしたものだった。
署名用紙には「日米安保
条約に基づいて、大黒神
島へNLP基地および海
上自衛隊の輸送・補給基
地等の誘致推進を図り、
沖美町をはじめとするそ
の周辺地域の産業経済の
振興に期することを目的
とする」と記されている。
署名は11日まで集め、
約1週間で、町内の過半
数の署名を集める考え

ういめく影

NLPの影のういめく

◆⑦◆



空久保求会長

「屋根が落ちた空き家ばかりになる。自然がきれいどころでないよ。合併したら、新市庁舎の整備などが優先され、そ

母艦載機の夜間発着訓練(NLP)施設の誘致し

かないと考えたという。6月30日夜に同盟会

の間には人がおらん

は、署名活動を始めた。住民に配るA3判の資料

の間にこは人がおらん

の右側には、NLP施設誘致に伴う「夢」が列挙

ようになる」

され、中央の同町の未来地図には、実現した夢の施設がイラストなどで書

1日、初めて取材に応

じた大黒神島基地誘致推

進期成同盟会の空久保求

会長(59)は、同島が一望

NLP施設の完成予想「沖美町から見える大黒



併で人おらん町に

この地図によると、町は町の業者を使う」「漁を訪問し、活動の趣旨なからは見えない同島南西部業補償の確保」などの記述もある。空久保会長は、部の山を削って滑走路を造る。直近の同島南部に同町内の有力建設会社の「海上自衛隊輸送・補給等基地」もできる。同島に近い畑原港からは、同島を経て岩国と往復するフェリーが就航する。

町内にもぎやかだ。町の中央部から、新しい橋で江田島町へ直行するパイパスが整備される。町内各4カ所に温泉と観光施設が新設され、太陽光

「騒音は、島から4キロ離る部家充・同町議は被爆2世で、旧社会党出身。

推進期成 基地で「夢」誘致

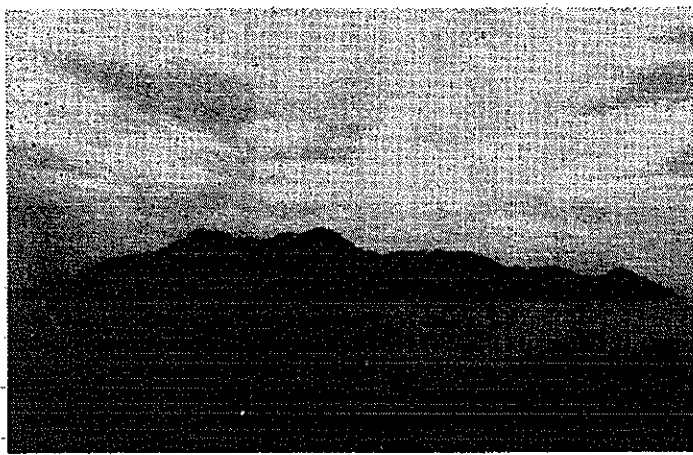
発電施設や若者向けの団地などもできる。れたら3、4人が集まっ

必要ないらしい。住民に健康の被害はない」と言

目として、福祉や教育の充実に加え、地元商工業

た結果だという。なぜ、合併直前に活動

沖美町役場から見える大黒神島。上空は厚い雲で覆われていた



大黒神島基地誘致推進期成同盟会の結成を、どう見るか。
6月上旬、私のところにも会長と副会長が来り



松井晃町長

松井・沖美町長

さうに来た。昨年の(白紙撤回の)事態を考えた

米空母艦載機の夜間発着訓練の施設(NLIP)誘致を巡り、賛成(反対)双方が署名活動を開始し、町内を二分する構相となってきた沖美町。同町を含む江能4町は今年11月に合併を控え、周辺8町にも大きな波紋を及ぼしている。昨年9月、誘致表明後の混乱の責任をとり辞職した谷本英一前町長と、その翌月に「誘致はしない」との公約を掲げて当選した松井晃町長の考えを聞いた。

うづめく影

◆⑧◆

「沖美町の常識疑われる」

らおかしな動きだと思っ
が、一部の町民が個人的
にやっているとだから静
観するしかない。
——同盟会結成が発覚
後、大黒町長が早々に「反
対」を表明したが、合併
への影響は？
非難に燃えている。
4町の一致団結が必要な
時に、沖美町の常識を疑
われる。当然ペナルティ
が出る。合併後にうち
だけ置いていかれてしま
う。ただ問題が起った
のは、自分への信頼がな
かったのかと反省する面
もある。
——誘致推進再燃の背景
に、合併後の町の将来に
対する不安がある。
不安を持つ住民は多い
らしいのか。
いや、いくら無人島と
言っても、公費がな
みんなが迷惑をせず、自
然環境を守られるという
点などは、考えなくては
ならない。

「合併したらいいける」

谷本前町長

——同盟会について知っ
ているか。
聞いてはいる。(メン
バーには)入ってはいな
い。
——同盟会とは全く関係
ないのか。
きではない。
——誘致構想の実現性に
ついては、
今、署名を集めても合
併まであと数カ月しか
ないから私をリコールす
るにも時間がない。周
辺町長もみな反対して
おり、合併したらまず
まず難しくなると思う。
知事や広島市長、平和
団体もみんな反対して
いるんだから、絶対無
理だ。
——誘致の署名をしたと
しても、絶対誘致しない。
——大黒神島を今後どう
平和都市として誘致すべ
きか。
——会長から会に入ると
う依頼されたのでは？
今のところはない。
——なぜ今この同盟会が
結成されたのか。
やっつけていけないから
やないか。合併した町村
の90%は失敗するん
じゃないか。江田島市な
んで失敗のモデルケース
た。
——誘致の実現性は、
合併したらいいける。そ
うじゃないと動きがとれ
ん。合併後の議会もま
ず間違ひなう解する。
この企画は、牧野宏美、
遠藤孝康が担当しまし
(おわり)